



平成29年10月19日

広島大学ライティングセンターシンポジウム
「研究者に対する英語アカデミックライティング支援
—組織的運営の視点から—」を開催します

広島大学ライティングセンターは、学術英語学会の協力を得て、標記シンポジウムを開催します。

全国の大学や研究機関に所属する「研究者に対する英語アカデミックライティング支援」の担当者が一堂に集まり、支援の先進的な事例や課題について情報交換や意見交換をすることを目的としています。組織的な取り組みの有効性や可能性、問題点についての考察や分析を共有する機会の提供を主眼としています。

【日時・会場】

日程：2017年11月18日（土） 10：00～16：45

会場：広島大学 東広島キャンパス ライブラリーホール

【主催】 広島大学ライティングセンター

【協力】 一般社団法人 学術英語学会

【対象】

大学や研究機関に所属する「研究者に対する英語アカデミックライティング支援」の担当者、あるいは関連事項に興味のある者

【言語】 日本語・英語

※プログラムの詳細は、ウェブページ
(https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/2017_sympto) または別添のチラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

広島大学 学術室 研究企画室

ライティングセンター担当

メールアドレス：wrc-research@office.hiroshima-u.ac.jp

TEL:082-424-4469 FAX:082-424-4592

研究者に対する 英語アカデミック ライティング支援

参加費：無料

言語：日本語・英語(通訳無し)

— 組織的運営の視点から —

日時・会場

2017年11月18日(土) 10:00 ~ 16:45

広島大学 東広島キャンパス 中央図書館 ライブラリーホール

◆◆◆プログラム◆◆◆

基調講演1 10:05~11:05

トム・ガリー (学術英語学会・会長理事/東京大学グローバルコミュニケーション研究センター長・教授)

「日本の研究発展を遅らせる個人的課題と制度的障壁の克服」

基調講演2 11:05~12:05 (英語)

キャロル・サーエージェント (米国・ジョージタウン大学 Director of Office of Scholarly Publications)

“Operations and management of the Office of Scholarly Publications”

事例報告 13:30~14:30

・大阪大学 (英語) ・北海道大学 ・筑波大学 (英語) ・広島大学

グループディスカッション 14:40~16:40

①各基調講演および事例報告について

②人社系の英語論文執筆支援について

※参加者で小グループを作り、ディスカッションを行います。

◆◆◆◆◆
意見交換会 17:00~19:00

会費：3,000円 会場：マーメイドカフェ

◆◆◆◆◆
参加申込み

事前に、オンライン専用フォームから参加申込みをお願いします。以下のURLにアクセスしてください。

http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=7219

※シンポジウムの詳細については、広島大学ライティングセンターHPをご覧ください。

【目的】

全国の大学や研究機関に所属する「研究者に対する英語アカデミックライティング支援」の担当者が一堂に集まり、支援の先進的な事例や課題について情報交換や意見交換をすることを目的としています。本シンポジウムは、アカデミックライティングに関する専門的な指導者の視点というよりも、研究者向け支援の取組みにおける事務的な運営者の視点に立つて企画されました。個々の研究者に向けたライティングスキル向上の具体的ポイントを解説・議論することは中心に据えず、組織的な取組みの有効性や可能性、問題点についての考察や分析を共有する機会の提供を主眼としています。

会場周辺地図

↑
申込みはこちらから